



## 2022年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 株式会社リファインバースグループ 上場取引所 東  
 コード番号 7375 URL http://www.r-inverse.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 越智 晶  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 青木 卓 TEL 03 (5643) 7890  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年6月期第2四半期の連結業績（2021年7月1日～2021年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年6月期第2四半期	1,670	-	65	-	30	-	29	-
2021年6月期第2四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2022年6月期第2四半期 29百万円 (-%) 2021年6月期第2四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年6月期第2四半期	9.02	8.94
2021年6月期第2四半期	-	-

(注) 当社は2021年7月2日付けにて単独株式移転の方法により設立されたため、前年同四半期実績及び前年同四半期増減率の記載は行っていません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年6月期第2四半期	2,867	412	13.7
2021年6月期	-	-	-

(参考) 自己資本 2022年6月期第2四半期 392百万円 2021年6月期 一百万円

(注) 当社は2021年7月2日付けにて単独株式移転の方法により設立されたため、前期実績の記載は行っていません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年6月期	-	-	-	-	-
2022年6月期	-	0.00	-	-	-
2022年6月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は2021年7月2日付けにて単独株式移転の方法により設立されたため、対前期増減率の記載は行っていません。

### 3. 2022年6月期の連結業績予想（2021年7月1日～2022年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,396	-	256	-	228	-	178	-	54.71

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は2021年7月2日付けにて単独株式移転の方法により設立されたため、対前期増減率の記載は行っていません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表の関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年6月期2Q	3,312,821株	2021年6月期	ー株
② 期末自己株式数	2022年6月期2Q	ー株	2021年6月期	ー株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年6月期2Q	3,300,174株	2021年6月期2Q	ー株

(注) 当社は2021年7月2日付けにて単独株式移転の方法により設立されたため、前期実績及び前年同四半期実績はありません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、新型コロナウイルス感染拡大を避けるため、機関投資家・アナリスト向け説明会の実開催は行わず、説明会動画を決算補足説明資料とともに当社ウェブサイトに掲載する予定です。掲載の時期につきましては改めて当社ウェブサイトでお知らせいたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は2021年7月2日付けにて単独株式移転の方法によりリファインバース株式会社の完全親会社として設立されましたが、連結の範囲については、それまでのリファインバース株式会社の連結の範囲と実質的な変更はありません。以下の記述において、前年同四半期と比較を行っている項目についてはリファインバース株式会社の2021年6月期第2四半期連結累計期間（自2020年7月1日至2020年12月31日）との比較を、前連結会計年度との比較を行っている項目についてはリファインバース株式会社の2021年6月期連結会計年度との比較を行っております。

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、前期に引き続き既存事業で徹底したコスト削減を進めながら、今後の成長の核となる再生樹脂製造販売事業の事業領域の拡大に向けて、持続的な成長のための事業基盤の強化、推進に努めてまいりました。

再生樹脂製造販売事業において、カーペットリサイクル事業は堅調に推移しました。また、高機能樹脂事業は工場の生産性改善を継続しており、それに伴いリサイクルナイロン樹脂「REAMIDE」（リアミド）の生産高及び売上高が伸長しております。ソリューション事業はリサイクルに関するコンサルティング受託による売上で収益に貢献しております。

再生樹脂製造販売事業においては先行投資フェーズから利益貢献フェーズへ移行中であり、外部企業等との連携による取り組みも加速しており、更なる成長のための基盤は拡大しております。また世界的なナイロン素材不足の影響もあり、当社グループのリサイクルナイロン樹脂「REAMIDE」（リアミド）への引き合いは増加しており、生産性改善による生産量の増加と原価低減を継続して進め、生産高及び売上高を更に増加させることで利益貢献事業へと進化させる予定です。さらに、ソリューション事業においてはライセンス契約やコンサルティング受託、設備販売、設備設計業務受託など収益源を拡大する受注活動が進捗しており今後の収益増に貢献していく見込みです。

産業廃棄物処理事業においては、過去からの継続的な営業活動の強化が増加する原状回復工事の受注獲得につながり、堅調に推移しております。今後も積極的な営業活動を継続することで安定的な収益基盤の強化に努めてまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,670,858千円（前年同期比40.7%増）、営業利益65,983千円（前年同期は営業損失144,244千円）、経常利益30,880千円（前年同期は経常損失158,613千円）、親会社株主に帰属する四半期純利益29,783千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失156,791千円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、記載のセグメント別の金額はセグメント間取引の相殺前の数値です。

#### ① 再生樹脂製造販売事業

再生樹脂製造販売事業につきましては、前第4四半期会計期間以降、3四半期連続でセグメント損益は黒字で推移しております。原状回復工事増加に伴う廃カーペットタイル受入処理量は堅調に推移し、廃棄漁網等をリサイクルしたナイロン樹脂「REAMIDE®」（リアミド）の生産性を改善することにより生産量増加による売上拡大とともにコスト圧縮を継続しております。ソリューション事業において、コンサルティングの受託などにより収益は増加しております。また、廃材処分のバリューチェーン改革によるコスト削減ソリューションの受注を獲得しており、将来の成長のための基盤は拡大しております。

この結果、売上高は616,004千円（前年同期比53.0%増）となり、セグメント利益は15,276千円（前年同四半期はセグメント損失161,787千円）となりました。

#### ② 産業廃棄物処理事業

産業廃棄物処理事業につきましては、半期として過去最高の受注件数を更新し、堅調に推移しております。解体工事から収集運搬・中間処理まで一括受注できる体制と小回りを利かしたサービスを強みに営業活動を強化してきたことが、増加する原状回復工事の受注獲得に大きく貢献しました。新型コロナウイルスの影響は引き続き注視する必要があるものの、徹底したコストコントロールを実施したことにより収益力は向上しており、売上高、営業利益ともに前年同期比で増加しております。

この結果、売上高は1,097,550千円（前年同期比38.7%増）、セグメント利益は228,137千円（前年同期比112.6%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,229,428千円となり、前連結会計年度末（以下「前年度末」という）と比べ4,054千円増加しております。これは主として売上増加に伴い受取手形及び売掛金が17,028千円増加し、配当金に伴う未収還付法人税等が10,064千円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は1,624,802千円となり、前年度末と比べ42,479千円減少しております。これは、主として有形固定資産が39,874千円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産は12,960千円となり、前年度末と比べ9,023千円減少しております。これは、開業費の償却によるものです。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は868,104千円となり、前年度末と比べ94,648千円増加しております。これは主として仕入及び諸経費の増加に伴う支払手形及び買掛金34,604千円、未払金が42,542千円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は1,586,713千円となり、前年度末と比べ183,946千円減少しております。これは、主として借入金の返済に伴う長期借入金が164,796千円減少したことによるものです。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は412,372千円となり、41,850千円増加しております。これは、主として新株予約権の行使に伴う資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,250千円増加、利益剰余金が29,783千円増加したことによるものです。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、493,382千円（前年同四半期比46.6%増）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は206,633千円（前年同四半期に支出された資金は103,656千円）となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益30,037千円、減価償却費112,041千円及び法人税等の還付額32,165千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出された資金は14,963千円（前年同四半期に支出された資金は14,463千円）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入36,000千円、有形固定資産の取得による支出49,296千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出された資金は186,780千円（前年同四半期に得られた資金は40,430千円）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出161,316千円及びリース債務返済による支出25,371千円によるものであります。

## (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年6月期の通期の連結業績予想につきましては、2021年8月13日の2022年6月期通期業績予想に関するお知らせにて公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルスによる影響は2022年6月期が終了するまでは継続するものと見込んで連結業績予想を算定しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (2021年12月31日)	
<b>資産の部</b>	
流動資産	
現金及び預金	506,820
受取手形及び売掛金	421,771
商品及び製品	176,464
仕掛品	38,264
原材料及び貯蔵品	39,471
前払費用	23,387
未収還付法人税等	20,587
その他	4,382
貸倒引当金	△1,722
流動資産合計	1,229,428
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	953,201
機械装置及び運搬具	1,195,264
工具、器具及び備品	95,620
土地	102,100
リース資産	278,503
建設仮勘定	15,241
減価償却累計額	△1,175,176
有形固定資産合計	1,464,755
無形固定資産	21,318
投資その他の資産	
投資有価証券	20,000
繰延税金資産	45,530
敷金及び保証金	90,294
その他	7,475
貸倒引当金	△24,571
投資その他の資産合計	138,727
固定資産合計	1,624,802
繰延資産	
開業費	12,960
繰延資産合計	12,960
資産合計	2,867,190

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間  
(2021年12月31日)

負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	94,944
1年内返済予定の長期借入金	376,082
リース債務	47,719
未払金	205,315
未払費用	67,999
未払法人税等	6,125
未払消費税等	27,977
その他	41,940
流動負債合計	868,104
固定負債	
長期借入金	1,279,900
リース債務	96,515
繰延税金負債	35,772
資産除去債務	155,280
その他	19,245
固定負債合計	1,586,713
負債合計	2,454,818
純資産の部	
株主資本	
資本金	152,875
資本剰余金	193,758
利益剰余金	45,971
株主資本合計	392,605
新株予約権	19,767
純資産合計	412,372
負債純資産合計	2,867,190

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
売上高	1,670,858
売上原価	1,195,403
売上総利益	475,454
販売費及び一般管理費	409,470
営業利益	65,983
営業外収益	
受取利息	1
受取賃貸料	1,585
助成金収入	1,073
その他	462
営業外収益合計	3,122
営業外費用	
支払利息	9,470
減価償却費	5,636
開業費償却	9,023
雑損失	12,774
その他	1,321
営業外費用合計	38,225
経常利益	30,880
特別利益	
固定資産売却益	119
リース解約益	951
新株予約権戻入益	88
特別利益合計	1,159
特別損失	
固定資産売却損	2,002
特別損失合計	2,002
税金等調整前四半期純利益	30,037
法人税、住民税及び事業税	1,443
法人税等調整額	△1,189
法人税等合計	253
四半期純利益	29,783
親会社株主に帰属する四半期純利益	29,783

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	29,783
四半期包括利益	29,783
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	29,783
非支配株主に係る四半期包括利益	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	30,037
減価償却費	112,041
リース解約益	△951
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△424
受取利息及び受取配当金	△1
支払利息	9,470
有形固定資産売却損益 (△は益)	1,882
売上債権の増減額 (△は増加)	△16,958
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△24,761
仕入債務の増減額 (△は減少)	34,604
未払金の増減額 (△は減少)	29,933
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△13,664
未収消費税等の増減額 (△は増加)	1,589
その他	44,257
小計	207,054
利息及び配当金の受取額	0
利息の支払額	△9,643
法人税等の支払額	△22,944
法人税等の還付額	32,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	206,633
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△3,000
定期預金の払戻による収入	36,000
有形固定資産の取得による支出	△49,296
有形固定資産の売却による収入	5,240
無形固定資産の取得による支出	△3,838
敷金及び保証金の差入による支出	△119
その他	50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,963
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
長期借入金の返済による支出	△161,316
新株予約権の行使による株式の発行による収入	6,500
リース債務の返済による支出	△25,371
割賦債務の返済による支出	△6,593
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186,780
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,889
現金及び現金同等物の期首残高	488,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	493,382

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間（自 2021年7月1日 至 2021年12月31日）

## 1. 配当金支払額

該当事項はありません。

## 2. 株主資本の金額の著しい変動

新株予約権の行使による新株発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ3,250千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が152,875千円、資本剰余金が193,758千円となっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計基準の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、商品又は製品の国内の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の期間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響はなく、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

また、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取り扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結累計期間等に係る四半期連結財務諸表等への影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自2021年7月1日至2021年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	再生樹脂製造販売事業	産業廃棄物処理事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	576,583	1,094,274	1,670,858	1,670,858
セグメント間の内部売上高 又は振替高	39,421	3,275	42,696	42,696
計	616,004	1,097,550	1,713,555	1,713,555
セグメント利益	15,276	228,137	243,414	243,414

## 2. 報告セグメント利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	243,414
セグメント間取引消去	76
未実現利益の調整額	1,583
全社費用(注)	△179,091
四半期連結損益計算書の営業利益	65,983

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び技術試験費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。